

季報28

本法人の広報誌を国見の自然あふれる四季とともにお届けします

学位記授与式



式典では加賀谷学長が代表学生に学位記の授与を行いました

※本誌掲載の写真については、新型コロナウイルス感染症対策のため撮影時のみマスクを外しています。

contents

- P 1 表紙
- P 2 東北文化学園大学 学位記授与式
- P 3 東北文化学園専門学校 卒業式
- P 4 卒業生へのメッセージ（大学学長）
- P 4 卒業生へのメッセージ（学長・校長）
- P 5 国見清掃ボランティア（地域連携センター）
- P 5 卒業制作展（専門学校）
- P 6 専門学校NEWS
- P 7 友愛幼稚園NEWS
- P 7 久慈幼稚園NEWS
- P 7 仙台城南高等学校と高大連携協定を締結
- P 8 研究紹介（臨床工学科）
- P 8 退職者一覧

春の息吹を感じはじめた3月に、東北文化学園大学 学位記授与式と東北文化学園専門学校の卒業証書授与式が挙行されました。東北文化学園大学・大学院は396人、東北文化学園専門学校では174人の学生が卒業しました。なお、本イベントに関連した写真・メッセージをご紹介します（2頁、3頁、4頁参照）





大学

東北文化学園大学学位記授与式を開催、学友会「輝ける者賞」を表彰

3月18日、東北文化学園大学学位記授与式を挙行了いたしました。コロナ禍の制限された環境の中、卒業を喜ぶ学生の笑顔が印象的でした。

また、本学の式典では、学友会の発展に貢献した学生を「輝ける者賞」として表彰しています。これは、学友会の各種行事や課外活動

などで際立った活躍をした卒業年次生が対象となります。審査の結果、2021年度の「輝ける者賞」は下記の学生が受賞いたしました。

2021年度 東北文化学園大学 学友会「輝ける者賞」

賞	所属	名前	活躍したフィールド
大賞	保健福祉学科	中野 和也	文化学園祭実行委員会委員長 / 卒業アルバム作成委員会委員長 他
	リハビリテーション学科言語聴覚学専攻	江刺家 実咲	学生リーダー会・制作班チーフ
	リハビリテーション学科言語聴覚学専攻	大友 渚	学生リーダー会・広報班ページ統括
	リハビリテーション学科言語聴覚学専攻	齋藤 菜花	課外活動委員会・運動部長 / 女子バスケットボールサークル代表
	リハビリテーション学科言語聴覚学専攻	増田 朱里	学生リーダー会・広報班チーフ
	リハビリテーション学科言語聴覚学専攻	松岡 ゆず	学生リーダー会サブトップリーダー
	看護学科	越後 麻衣	学生会代表者会議・議長 / 感謝の日実行委員会副委員長 / 学生リーダー会
	保健福祉学科	小西 貴斗	サッカーサークル代表 / 学生リーダー会・企画班チーフ 他
	総合政策学科	酒井 啓輔	軽音 JAZZ サークル代表 / 学生リーダー会
	建築環境学科	高橋 一真	バレーボールサークル代表 / スポーツ大会運営
	臨床工学科	山家 千那穂	文化学園祭実行委員会副委員長 / 文化学園祭・芸能人担当チーフ



専門 東北文化学園専門学校 卒業証書授与式・表彰

3月17日、東北文化学園専門学校
の卒業証書授与式を予定してしま
が、3月16日夜半に発生した地震に
よる交通機関の乱れ等の影響で、式典

は中止となりました。

当日は、登校可能な学生のみとはな
りましたが科別で卒業証書の授与を行
い、卒業生は、友人や教員との別れに

一抹の寂しさを感じつつも、これから
始まる新しい門出に目を輝かせていま
した。なお、2021年度の専門学校の
表彰者一覧は下記の通りです。

2021年度 東北文化学園専門学校 表彰

賞	所属	名前
学校長賞	視能訓練士科	渡辺 麻花
宮城県知事賞	医療秘書科	栗田 真梨菜
仙台市長賞	インテリア科	伊藤 蓮
宮城県専修学校 各種学校連合会長賞	建築士木科	齊藤 加菜
精励賞	建築士木科	阿部 喜斗
精励賞	インテリア科	関谷 拓海
精励賞	インテリア科	菅野 丸
精励賞	建築士専攻科	中村 功誠
精励賞	医療秘書科	新美 南
精励賞	医療情報管理科	佐藤 純夏
精励賞	診療情報管理士専攻科	黒沼 亮太
精励賞	介護福祉科	村上 隼斗
精励賞	社会福祉科	富樫 なつ
精励賞	視能訓練士科	山口 瑠菜

賞	所属	名前
精励賞	視能訓練士科	近藤 はるか
奨励賞	建築士木科	千葉 彩加
奨励賞	インテリア科	武田 真奈
奨励賞	インテリア科	稲村 尚樹
奨励賞	建築士専攻科	樋口 碧空
奨励賞	医療秘書科	五十嵐 茱白
奨励賞	医療情報管理科	佐藤 雪乃
奨励賞	診療情報管理士専攻科	佐藤 花
奨励賞	介護福祉科	和田 純佳
奨励賞	社会福祉科	邊見 英里華
奨励賞	視能訓練士科	狩野 桃花
奨励賞	視能訓練士科	梅田 沙希

MESSAGE

学長から卒業生の皆さんへ 「やり抜く力を磨いて」



東北文化学園大学
学長 加賀谷 豊

卒業生の皆さん、おめでとうございます。4年前の入学式の日、本学教職員や先輩の学生に迎えられ、皆さんの大学生活が国見の丘のキャンパスで始まりました。その時の緊張した気持ちを覚えているでしょうか。その後、楽しいことや充実したことばかりではなく、つらいことや悲しいこともあったのではないのでしょうか。

後半の2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、思い描いていた学生生活とは違っていただかもしれません。それらを乗り越えて手にした学位記は、努力と、もしかしたら涙の結晶かもしれません。どうぞ自分を誇りに思い、胸を張ってください。

近頃、「grit やり抜く力」という言

葉をよく耳にします。先日、アンジェラ ダックワースという中国系米国人の女性心理学者が書いた本（神崎朗子訳）を読みましたが、この方は膨大な客観的データに基づく grit の研究で大変有名です。

一言で言うと「成功している人」は、学歴や才能に恵まれているのではなく、「grit やり抜く力」を持っているというものです。これは生まれ持った性質ではなく、後天的に獲得でき、さらには向上させることができます。社会への門出にあたり、一読をお勧めします。

最後に、皆さんのご健康とご活躍を心からお祈りします。

校長から皆さんへ 「卒業生を送る」



東北文化学園専門学校
校長 佐藤 直由

専門学校では174名の学生が社会人として飛び立つことができました。教職員をはじめ、関係者の皆様には厚くお礼申し上げます。

2年前の冬から発生した新型コロナウイルス感染症は、政府、自治体、企業事業所、学校、市民が一体となって感染対策を講じ、さらにワクチン接種も3回目が進められてきています。本校においても、体調管理表のチェック、入校時の体温測定と手指消毒、黙食の励行を継続して実施するとともに、予防の原則である「3密（密閉・密集・密接）」の徹底的な回避と、身体的距離の確保を指導してきました。

学生が積極的に感染予防に取り組ん

だこともあり、本年度は休校等の措置もなく継続的な教育活動を行うことができました。

卒業を迎えた学生は、入学してから不慣れな遠隔授業による学習、学友たちとのマスク着用での交流、校内での実習授業、細心の注意を払いながらの資格取得試験受験や就職活動に取り組むという、様々な制約の中で学修に励んできましたので、卒業の喜びはひとしおであったかと思います。

皆様からも学生のこれまでの努力を称え、前途を祝福するお声掛けをいただくとともに、社会での先達としてご指導、ご厚誼をお願い申し上げます。

本学と地域・行政とのコラボレーションによるボランティア（地域連携センター）



2021年12月12日、国見五丁目町内有志の方々及び仙台市青葉区まちづくり推進課の職員と共に、近隣にある国見コミュニティ広場フェンスの葛の除去作業を行いました。

本学では、昨年度より「学びの振り返りと共有」を図り学生の社会性を育み実社会に通用する学生を輩出するた

め、『探求・理解プロジェクト』を開講、入学初年度の一年生全員の受講を進めています。今回はその一つ「地域活動・ボランティア」講座の受講生を中心に、指導教官及びゼミ生十余名が、地域住民・行政スタッフと共に作業を行いました。

午前中のみと限定された時間での作業でしたが、葛の除去作業及びゴミの搬出に参加したスタッフ総出で効率よく進め、時間内に想定よりも多くの面積を片付けることが出来ました。

作業終了後には管轄の町内会長より「このような相互の協力関係を継続し、大学と地域の交流を継続していき

い」との発言もあり、参加した学生一同有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今後も地域・行政・大学の繋がりを大切に、こうした活動を進めていくよう努めて参ります。



「卒業制作展 2021」を開催しました（建築土木科・インテリア科）

2022年1月18日から20日まで、せんだいメディアテークにて建築デザイン学科（建築土木科・インテリア科・建築士専攻科）による「東北文化学園専門学校卒業制作展 2021」を開催致しました。

コロナ禍での開催となるため、学内で検討を重ねた結果、学生の制作成果

を発表する重要な場であることから、感染予防対策を十分に講じたうえでの開催を決定致しました。

本校は25年以上卒業制作展を開催しております。外部審査員を招いて行われる「卒業設計学内コンペ」は、今年で14回目を数え、学生達はこの場を大きな目標として日々努力してきました。

残念ながら昨年度からコロナ禍のため非公開・学内からのリモートによるプレゼン審査となっておりますが、今年も大いに盛り上がり、各コースの受賞者が決定致しました。

また、作品に向き合う学生の姿を、



東北文化学園専門学校 YouTube チャンネルで動画公開しています。

是非ご覧ください。

- 卒業制作展「学内設計コンペ」リモートプレゼンの様子
- 20分でみる卒制展
- 中間プレゼンテーションの様子など



宮城県農業協同組合中央会様と協力し ご飯とレトルト食品を学生に配付（学生課）



2022年1月26日、宮城県農業協同組合中央会様から無償提供頂いたパックご飯1200パックと、本学学生会から提供したレトルト食品を組み合わせ、手間なく食べられる食事600セットを学生に配付しました。

この取り組みは、コロナ禍によるイベントの中止や、課外活動に制限を強いられている学生への少しばかりの応援になればとの思いも込められています。アルバイトの減少等により不安を感じる学生からは、喜びの声があがりました。

専門

インテリアコーディネーター現役合格！リビングスタイリスト団体奨励賞受賞！（インテリア科）

インテリア科から学生の努力が実を結んだ成果を2つご紹介致します。

ひとつは、今年度もインテリア科2年生から「インテリアコーディネーター現役合格者」を輩出しました。

専門学校生の合格率は5%前後の超難関資格であり、学生が受験可能になった平成16年以降着々と合格者を

積み上げ、1次試験、2次試験を合わせ約80名弱と専門学校では東北一の実績を残しています。

またインテリア科1年生が、文部科学省後援「リビングスタイリスト2級」試験において団体奨励賞を受賞しました。

特に得点の高かった4名について

は、個人の優秀成績者表彰も受けました。

インテリア業界の流通・販売に特化した資格であるリビングスタイリストは、コロナ禍で「おうち時間」が見直される中、出題の傾向も変化しています。これからも、教員と学生と一緒に、新しい時代のニーズを考え続けていきたいと思います。

学生は、以上の検定試験の他、福祉住環境コーディネーターや施工管理試験など多くの資格や試験に挑戦し、成果をあげています。



専門

おめでとう！医療秘書技能検定・医事コンピュータ技能検定成績優秀賞（医療ビジネス学科）

医療秘書教育全国協議会より、成績優秀賞が発表されました。

医療秘書技能検定2級においては、医療秘書科2年の眞壁彩季さん。3級においては医療情報管理科1年の平賀愛矢さんが受賞しました。

また、医事コンピュータ技能検定3級においては、医療情報管理科1年の

塗美咲さんと平賀愛矢さんが受賞しました。平賀さんはダブル受賞です。

医療秘書技能検定は、医療秘書としての専門知識と技能を認定するものであり、医療機関における事務のスペシャリストを目指す人にとって必須の資格です。

また、医事コンピュータ技能検定では、医事コンピュータによるレセプト作成能力と医療事務、コンピュータの知識が問われます。診療報酬請求事務のコンピュータ化が普及するなか、医療事務に従事する者にとって必須の技能と言えます。

1年生の塗さんは、「繰り返し練習



することが大事だと思いました。」と、受賞の喜びに笑顔を添えて答えてくれました。

受賞した皆さんの、今後の活躍も期待しています。おめでとうございます！



専門

二級建築士の先輩が国家試験体験談を講演（建築土木科）



二級建築士に合格した建築士専攻科の学生代表が、4月の授業開始から合格までのリアルな体験を後輩に伝えました。

専門

第52回視能訓練士国家試験（視能訓練士科）



2022年2月17日に国家試験が立教大学で行われました。コロナにも負けず無事に31人全員受験をすることができました。

幼稚園

冬のあそび（幼稚園型認定こども園友愛幼稚園）



今年は雪が多く寒さも一段と厳しく感じます。園では毎日の雪かきや、屋根の雪下ろし、時折水道の凍結等、大人にとっては大変なことが多いのですが、子どもたちにとっては楽しく充実した冬になったようです。

雪の上に寝っ転がったり、そり滑りに雪合戦、また、容器に水とビーズを入れたおしゃれな氷作り、雪の上に絵

の具でお絵かきをしたりと、寒さで頬を真っ赤にしながらあそびを満喫しています。

あそぶ子どもの声に耳を傾けてみると、“昨日の水が凍っているよ！” “えー！見て！触っていると溶けた！” “こっちの雪はカチカチの雪なのに、ここの雪はふわふわだ”等、なんで？ どうして？の不思議が止まりません。



子どもたちが今感じている自然の不思議からの興味関心を更に深めるためには、先生の視点と気転が大切です。

これからも、園の教育の中心である“あそびを通して楽しく学ぶ”に繋がる様々な活動を提供してまいります。



幼稚園

「豆まき～鬼に負けないぞ！」（幼保連携型認定こども園久慈幼稚園）

2月3日、豆まきが行われました。子ども達はその準備期間に鬼のお面を完成させ、得意気に友だち達同士で見せ合う姿が見られました。

一方で、園庭で大きな鬼の足跡を見つけると笑顔が消え、2度も鬼から手紙が届くとソワソワと落ち着かない様子を見せていました。

0歳児から5歳児までボールを投げ



る練習をしたり、鬼に見立てた段ボールに当てる練習をしたりして迎えた豆まき本番。

保護者有志の鬼役4人が赤鬼と青鬼に扮し登場すると、保育者にしがみつき号泣する子、怖がりながらもボールを握りしめる子、果敢にも鬼に立ち向かう子と見せた姿は様々でした。

降園時にお家の方に誇らしげに報告

する姿から、一人ひとりがしっかり自分の心の中の鬼と向き合えたことが感じられました。

今、子ども達は一年間の行事を終え、園庭や室内で友だちと元気に遊んでいます。卒園や進級を間近に控えた子ども達が、これからも明るく逞しく健やかに成長してほしいと願っています。



大学

トーキン科学技術振興財団奨励賞を受賞（建築環境学科）



「第32回トーキン科学技術賞贈賞式」にて、工学部建築環境学科の一橋佑介准教授が「トーキン科学技術振興財団奨励賞」を受賞しました。



大学

本学教授が共著で執筆した書籍が発行（リハビリテーション学科）



医療福祉学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻の藤原加奈江教授が共著で執筆した書籍「分散脳～自閉症スペクトラム障害の私が語ること、書くことの意味～」が発行されました。



工学部臨床工学科 深谷碧助教が2021年度一般財団法人石田實記念財団研究奨励賞を受賞しました。テーマは「人工心肺の安全性向上に向けたローラポンプ圧閉度定量評価システムの開発」です。

心臓の手術では手術視野確保のために心臓を停止させます。その際に用いられるのが「人工心肺装置」という機械です。人工心肺装置を用いた心臓手術は、日本で年間44000件以上行われています。

人工心肺装置は心臓血管外科手術に必要な不可欠ですが、手術後患者の約20～40%で急性腎障害が発症し、そのうち2～6%の症例では透析などの腎代行療法が必要になるという問題が

ありました。

急性腎障害の一因としては、人工心肺装置のローラポンプが赤血球を壊すことによる「溶血」が原因であることは先行研究で判明していました。

そこで、深谷先生は問題の解決に向け、人工心肺装置のローラポンプとチューブの關係に着目しました。

人工心肺装置のローラポンプは心臓の機能を代替するもので、チューブ内の血液を回転するローラで圧迫する構造となっています。このとき、ローラがチューブを圧迫する度合いを「圧閉度」といいます。

これまで、血液にダメージを与えない適切な「圧閉度」がどのくらいかは解明されていませんでした。

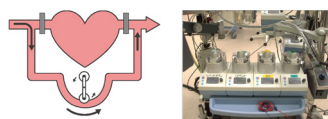
血液にダメージを与えない適切な「圧閉度」を解明することで、急性腎障害の予防と共に装置のさらなる安全な運用ができるようになると、深谷先生は考えました。

2年にわたる試行錯誤の結果、ローラに圧迫されるチューブ内部の血液の色の濃淡を厚みに変換するシステムを開発することで、チューブ内部の断面形状を計測することに成功しました。

深谷先生は、研究の今後の展開について、適切な「圧閉度」の解明ならびに「圧閉度」の自動調節の応用技術の研究をすすめており、人工心肺装置の安全運用がさらに進化することが期待されます。

研究背景

心臓手術では手術視野確保のため心臓を停止させる心臓と肺の機能を代行する人工心肺装置を用いる

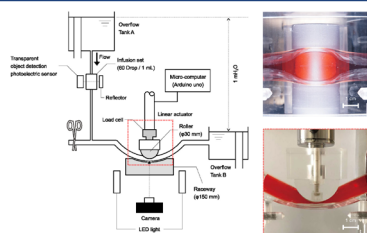


人工心肺装置

本邦の人工心肺装置を用いた手術・年間44,000件以上

心臓と肺の機能を代替する人工心肺装置（研究紹介資料より）

ローラポンプ 圧閉度定量評価システム | 装置概要



血液の色の濃淡を厚みに変換することで、チューブの断面形状を計測するシステム（研究紹介資料より）



臨床工学科助教 深谷 碧助教

報告

2021年度 定年退職教職員一覧

2021年度、以下の方々が学校法人東北文化学園大学を定年退職されました。これまでのご尽力に感謝するとともに、みなさまの今後のご活躍、ならびにご健勝をお祈り申し上げます。

東北文化学園大学・大学院 所属	名前
医療福祉学部 看護学科（教授）	北山 玲子
総合発達研究センター（教授）	長谷川 賢一

東北文化学園大学・大学院 所属	名前
大学事務局（局長）	高橋 勝則

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
また、記事掲載のご要望等あればご連絡ください。

■連絡先

学校法人東北文化学園大学 総務部総務課
〒981-8550 宮城県仙台市青葉区国見 丁目 45-1
TEL 022-233-3330（代表） FAX 022-233-9875
メール pr@office.tbgu.ac.jp

学校法人東北文化学園大学 寄附金募集のご案内

本法人が掲げる理想の人物像「輝ける者」を社会に輩出するために、教育研究活動のための環境整備及び学生の修学支援体制の充実を行うことが必要です。より一層の教育研究活動の発展のため、皆様からのご支援を賜りたく、寄附金を募集しております。詳細は本学 HP をご参照ください。